

《目次》

【診療科・部門紹介】

- 》 心臓血管外科
- 》 輸血部
- 》 泌尿器科
- 》 義歯補綴科
- 》 外来化学療法室
- 》 漢方診療センター

- 味覚障害
- 錦江湾魚ごよみ

- **病院再開発** 新病棟にヘリポートが設置されました

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

《患者さんの権利》

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 人としての尊厳を尊重される権利
3. プライバシーや個人情報が保護される権利
4. 自分の状態や診療内容について説明と情報提供を受ける権利
5. 自分の意思で医療を選択する権利

《患者さんの責務》

1. 自分の健康状態についてできる限り正確な情報を提供する責務
2. 当院の規則を守り、迷惑行為を慎む責務
3. 診療費を速やかに支払う責務

救肢のための足関節周囲バイパス

心臓血管外科

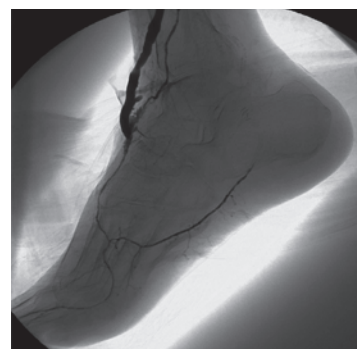
近年、糖尿病、透析、動脈硬化疾患などの増加により、下肢の血流不全に起因する重症下肢虚血症例(Critical Limb Ischemia ;CLI)が増加してきています。運が悪いと最初にかかった病院や医師によってはすぐ切断と判断される事もあります。CLI患者では1年以内の切断率が25%といわれており、下肢切断を回避するためには、信頼できる血行再建、足部の局所管理、全身管理など様々な領域の関与が必要です。鹿児島大学心臓血管外科ではCLIの加療に欠かせない足関節部の動脈への自家静脈による下腿バイパス術を積極的に行っております。最近4年間で治療したCLI症例は約160肢で足関節周囲への下腿バイパス手術症例も50例程度となりました。2年救肢率は約90%となっており、良好な成績が示されております。鹿児島県内でこの血行再建術を多くやっている施設は無く、当科の役割は大きいものとなっております。今後益々、急増するであろうCLIに対し血行再建を積極的に取り組み、救肢すると共に患者さんのQOLの向上、生命予後の改善をはかつて行きたいと考えております。



術前



術後



膝下膝窩-足背動脈バイパス

「輸血・細胞治療部」として更に発展

輸血部

輸血部は輸血・細胞治療部に改称しました。

1) 業務内容の変化:

輸血部ではこれまでの輸血に関する検査・管理から、造血幹細胞移植に関連した業務を行っており、近年これらの業務が急激に増加しています。末梢血幹細胞採取や骨髄濃縮業務に加えて、造血幹細胞の純化などの業務も依頼されています。また造血幹細胞採取だけでなく、移植後のキメリズム解析(移植後の生着確認など)の業務も増加しています。

2) 全国的にも輸血部の業務内容が、従来の単なる血液細胞の輸血から、骨髄や末梢血の幹細胞、さらには実質臓器から細胞を単離、浮遊させて細胞移植するという方向に発展しています。これに伴い、日本輸血学会自体も日本輸血・細胞治療学会と名称変更し、多くの大学病院の輸血部が名称変更を行っております。上記を踏まえて、当病院の輸血部も輸血・細胞治療部と名称変更を行う事により、先進医療に対する意気込みを対外的に示していこうと考えています。

3) 骨髄移植や、臓器移植に関連したHLA検査にまず取り組みます。

4) さらに鹿児島大学病院の高度先進医療への取り組みを促進していきます。

新しい輸血・細胞治療部を宜しくお願いいたします。

おしっこ周りのトラブル、 ご相談ください

泌尿器科担当の疾患を御存知ですか？我々は主におしっこの通り道とその周りの不具合の診断、治療を行っています。つついおしっこの出口周りの病気のみと思われがちですが、腎臓、副腎、尿管、膀胱や、男性では更に前立腺、尿道、精巣などの臓器の悪性腫瘍(手術、放射線、抗がん剤治療)や感染症、膀胱機能障害、男性機能不全や、最近、増加傾向の腎不全(透析、腎臓移植)など取り扱う疾患も多岐にわたっており、患者様の年齢層も生後まもなくの小児(先天性疾患)から、頻尿、尿失禁などに悩む高齢者まで、様々です。

当然、大学病院という特性上、敷居が高いと思われやすく、初診時の制限などありますが、市内や地域の公立病院などの中核病院や開業医の先生方と連携を取りながら、最適な治療法を選択するように心がけていますので、なにかおしっこ周りのトラブルがある時は、恥ずかしからずに泌尿器科を受診してみてください。隠れていた病気の早期発見につながるかもしれませんよ。



泌尿器科

おいしく食べて、 笑って楽しく話せる生活をサポート

歯を1本でも失うと食べ物が食べにくくなるばかりで無く、話すたびに空気が漏れたり、見た目が悪くなったり、精神的にも苦痛が伴います。失った歯の形や機能を補うことをほてつ(補綴)と専門的には呼びますが、我々は歯の欠損に対して義歯による補綴治療を行っています。義歯といってもバリエーションが多く、取り外し出来るいわゆる入れ歯からインプラントで支持される固定性の義歯、その中間的な義歯など様々なものがあります。我々は時間はかかっても欠損のパターンや患者さんの体質に応じて様々な方法を提示し、患者さんに治療方法を選択していただくように心がけております。また他院では治療困難とされた症例でも院内の専門科と協力して大学病院ならではの高度な医療を提供しております。2013年3月に着任した西村正宏教授のもとインプラント治療には特に力を入れております。おいしく食べて、笑って、楽しく話せる生活をサポートできるよう、最先端の情報を見逃さず、自らも研究を行い、歯槽骨再生医療等の新しい治療法の開発や、高齢者に対応する治療法の開発も積極的に行っています。近医からの紹介も積極的に受け付けております。

義歯補綴科

<初診受付> 平日偶数日 午前9時から午前11時(予約不要)

(通常のインプラント治療は自費治療になりますので、健康保険は適応されません)

義歯補綴科外来 TEL 099-275-6601



上の歯をほとんど失い、通常の義歯では満足が得られなかった例。この後様々な診査・治療を経てインプラントを6本埋入した。



埋入したインプラントの上にネジで固定するための義歯を製作した(義歯のみを鏡の上に置いて撮影)。



初診から2年かかりましたが、左図の義歯を装着して何でも食べられるようになりました。

がん患者さんを支える

外来化学療法は、がん対策基本法に基づく整備を進め、点滴治療の安全と効率を推進するとともに、自宅療養期間中の患者さんを支えています。

当院の外来化学療法室は、2006年に開設し、7年目を迎えました。開設当初は5床で稼働していましたが、昨年9床に増床しました。12診療科の化学療法を行い、増加の一途にあるがん罹患数に伴い、当院の外来化学療法室利用件数も増加傾向にあります。

外来化学療法室には、専任のスタッフが常駐し、安全な抗がん剤の投薬と、快適な治療環境を整えるとともに、日常生活のお悩み事の相談にも応じています。

鹿児島大学病院 外来化学療法室

TEL 099-275-5694

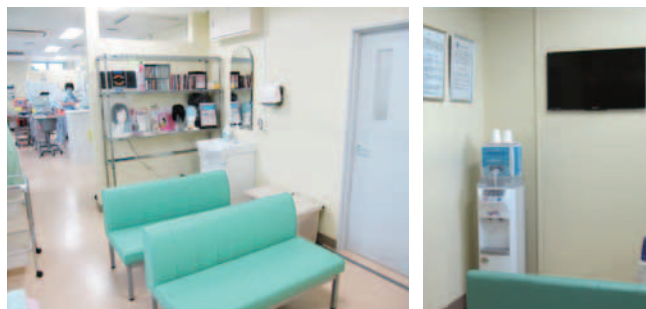
年度別利用患者数



外来化学療法室



治療室にはベッドとチェアがあり、選択できます。



待合室 CD、DVD、テレビ、ウォーターサーバー、ウィッグの見本も置いてあります。

日本古来の伝統医学を用いて 一人ひとりの体質に合わせて治療を行う

漢方診療センター

鹿児島大学病院漢方診療センターは、患者さんのニーズにお応えするため平成24年5月に開設されました。平成25年5月31日～6月2日に鹿児島で日本東洋医学会学術総会が開催されたことがニュースで報道され、漢方にご興味を持たれた方もいらっしゃると思います。

当センターでは、各診療科の診察・検査等では異常を指摘されない、治療を受けているけれども、さまざまな症状が続いてお困りの方に、漢方薬での治療を中心に行っております。医科と歯科が連携して診療に当たっておりますので、例えば、慢性的なめまい・頭痛、身体の痛み、胃腸虚弱、疲れやすい、手足の冷え、月経困難、口腔や舌の痛み、治りにくい口内炎、味がおかしい、口が乾くなど、原因のはっきりしない症状をお持ちの方々の診療をいたしております。また、その他の症状がある方も是非一度ご相談ください。


なお、処方する漢方薬には健康保険が適用されますが、処方薬はエキス剤のみで、煎じ薬は取り扱っておりません。担当医は現在のところ心身医療科、口腔外科、産婦人科の医師が担当しております。受診希望の方は、かかりつけ医の紹介状と予約が必要になります。

〔味覚障害〕


外来化学療法室

抗がん剤治療を受ける患者の約6割に味覚障害は生じるといわれています。症状の改善までは、味付けの工夫をして、栄養摂取できるよう工夫することが大切です。


味が薄く感じる、味がわからない

 濃いめのだし汁を使って調理し、味付けもやや濃くして、味をはっきりさせます。また、酸味やカレー粉、しょうが、梅干しなどの香辛料や香りのある食品を少量使用してみます。


味を濃く感じる

 うまみの利いただし汁だけで調理してみます。味を付けるときには、薄い味付けとします。


その他

 ・料理の味を分かりやすくするために、人肌程度の温度に冷ます。
・麺類(そうめん、うどんなど)汁物、スープ、スープ煮などの水分を多く含む料理や、温泉卵、茶わん蒸し、卵豆腐、湯豆腐、冷奴などの、のど越しが良く水分の多い料理もメニューに取り入れるようにします。

金属の味がする

 スプーンやフォークを含め、金属を材質にした食器類を避けます。

甘みを強く感じる

 砂糖やみりんなど甘い調味料を使用しないで、塩、しょうゆ、みそなどで味を付けるようにします。

外来化学療法室看護師です。



私たちと共にごがんばりましょう!

日常生活の注意点



- 口の中を清潔にしましょう。毎食後にブラッシング、うがいをしましょう。
- 舌苔をスポンジブラシか軟らかい歯ブラシで落としましょう。
- こまめに水分を口に含んで、口の中を乾燥させないようにしましょう。

命がけの卵保護

夏の日差しが照りつける錦江湾を桜島南岸にボートを走らせました。梅雨明けの真っ青な空に入道雲と桜島の雄大な姿が夏の空を彩ります。海の季節が来たと心が躍ります。

海中でも、水温が急上昇し、多くの生き物たちが活発に動き始めました。浅瀬の岩場では多くの魚たちが恋の季節を迎え、盛んに泳ぎまわっています。私は、そんな賑やかな海底を深場へと降りてゆきました。

砂の斜面に差し掛かったとき、一つの蛸壺が目につきました。古来蛸壺漁が行われてきた錦江湾には、綱が切れ、そのまま海底に沈んだ蛸壺が数多くあります。覗いてみると中には大きなタコがいました。いつもなら奥へ隠れるタコですが、今日は入り口まで出てきて、さらに自分の体で蛸壺に蓋をしてしまいました。ちょっと意地悪ですが、私はタコをそっと押して蛸壺の奥の方を覗きました。やはりありました。蛸壺の天井からたくさんのお卵が房のようになってぶら下がっています。タコは、卵を守る母親だったのです。タコを獲る漁具であった蛸壺が役目を終え、今やタコの揺りかごとなっていました。

マダコのお卵は、42～50日で孵化します。その間、母ダコは餌もとらずに卵を守り抜きます。卵を襲う魚などの攻撃で体は傷だらけになり、痩せ衰えます。やがてある日の日没後、暗闇に孵化した仔ダコたちが旅立つのを見送った後、母ダコは力尽きて死んでいくのです。



蛸壺の中、卵を守るマダコの雌。
房になって垂れ下がる卵塊は「海藤花(かいとうげ)」と呼ばれる。

TOPICS

病院 再開発

現在の建物は築後30年以上が経過しているため、病院内施設の充実、患者さんの療養環境改善を目的に、平成19年度から建物の増築・改修を行っています。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

新病棟にヘリポートが設置されました

新病棟の屋上にヘリポートが設置されました。ドクターヘリの離着陸を新病棟の屋上で行うことが可能になるので、救急機能の強化、患者搬送時間の短縮が期待されます。新病棟竣工後には、稼働に向けて、離着陸の訓練が行われる予定です。



▶ 広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気について的一般知識など知りたいことがありましたら、お知らせください。
また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈30号〉

2013(平成25)年7月発行
発行／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>